マリンレジャー安全レポート

第七管区海上保安本部
マリンレジャー安全推進室
TEL　093-321-2931
E-mail:kyuunan7-j7vj2@kaiho.mlit.go.jp

第６７号（平成２３年２月）

平成２３年１月 プﾚｼﾞｬｰﾎﾞｰﾄ等 海難発生隻数	
合　計	5　隻
衝　突	0
乗　揚	0
転　覆	0
浸　水	1
推進器障害	0
舵障害	0
機関故障	3
火　災	0
爆　発	0
行方不明	0
運航阻害	0
安全阻害	1
その他	0

ﾏﾘﾝﾚｼﾞｬｰに伴う 海浜事故者数	
合　計	人(6人)
遊泳中	0(0)
釣り中	6(3)
サーフィン中	0(0)
ﾀﾞｲﾋﾞﾝｸﾞ中	0(0)
その他	0(0)

※（）内は死亡・行方不明者数

1月も12月に引き続き釣り人の事故が頻発

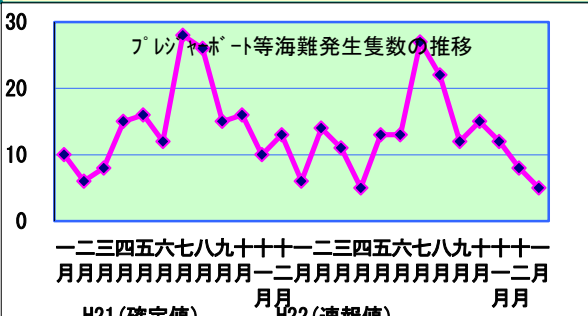
１月も釣り人の事故が頻発して、6人の方が事故に遭っています。6人の内5人が海中転落して、その内3人が亡くなっています。

《事例》1月29日、Aさん（52才）は釣り仲間4人とともに定期船でB島に渡り漁港の東側防波堤上で釣りを始めました。夜になり、5人は同所で食事をとり仮眠していましたが、寒くなってきたため、Aさん以外の4人は、30日0130頃までに適宜、島の観光休憩施設に移動しましたが、Aさんは一人同所で仮眠をとっていました。
30日午前4時頃、仲間の一人が釣りを再開した時Aさんの姿はなく午前6時30分頃になってもAさんが現れなかったため周辺を捜索しましたが、見つからなかったことから警察署に通報したものです。
午前9時10分頃、捜索中の地元消防団員が漁港の付近に設置されている生け簀の中に浮いているAさんを発見して揚収しましたが、すでに亡くなっていました。
Aさんは、ライフジャケットを着用していました。
〔当時の気象・海象〕曇り、西北西の風11㍍、風浪2㍍、海水温度13度

《教訓》
- 岸壁、磯場等で釣りを行う時、単独行動は止めましょう。
- 「排尿時失神」をご存じですか？小用中や小用後に血圧が急激に低下して一時的に失神してしまうものです。今回の海中転落の原因は不明ですが、排尿時には「排尿時失神」に注意しましょう。

ミニボートの海難も発生

《事例》1月7日午前10時30分頃、Bさん（20才）は釣りを行うため、友人とともに友人が所有するミニボートC丸（全長約3.3メートル）に乗り込み定係地の船溜まりを出港しました。北方向け約30分ほど航走した後、風浪を避けるため進路を東方に向けましたが電動推進器の推進力が弱く、折からの強風と波浪に耐えきれず圧流され始めたため118番通報により救助を求めました。
救助要請後、同ボートは圧流により運良く岸壁に漂着しました。
〔当時の気象・海象〕晴れ、北西の風5㍍、風浪0.5㍍、うねりなし

《教訓》
- ミニボートは船体重量が軽く機関馬力も小さいことから、風や波が大きく影響するので、沿岸付近で活動する場合でも、気象・海象に十分注意しましょう。

平成２２年の海難等の発生状況（速報値）

平成２２年に第七管区海上保安本部管内で発生した海難等は次のとおりです。

１　海難船舶は４０２隻で平成２１年に比べ５４隻減少しています。海難に伴い２２人が死亡･行方不明となっています。
　用途別ではプレジャーボートが１４９隻（３７％）と最も多く、初めて漁船海難の隻数を上回りました。

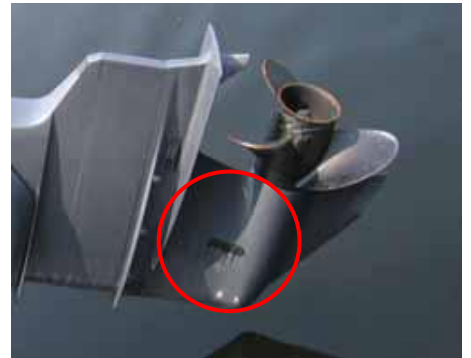
２　人身事故者数は３３０人で平成２１年に比べ６２人減少しています。この内、１６６人が死亡・行方不明となっています。
　また、マリンレジャーに伴う海浜事故者は８４人で、この内、３６人が死亡・行方不明となっています。マリンレジャーの種類別では釣り中（船釣りを除く。）が５１人（うち死者･行方不明者２２人）、遊泳中が２０人（うち死者・行方不明者９人）となっています。
３　釣り人や船舶乗船者で海中転落した人は１４２人で、そのうちライフジャケット着用者は４４人でした。着用者のうち３７人が生存して救助されており、生存率は、着用者８４％、非着用者４６％となっています。ライフジャケットを着用しているか否かが生存率に大きく影響しています。

発航前点検をお忘れなく！（冷却水の点検）

＊ 船によって構造や機関の種類が異なります。詳しくは購入時の取扱説明書等を確認ください。

○ 冷却水（海水）用フィルター等の確認
　冷却水（海水）用フィルターや冷却水取入口がゴミ等により目詰まりしていませんか。
　冷却水量不足はエンジンが焼き付く原因となります。
　冷却水用フィルター等のゴミを取り除きましょう。
　（海上で作業する場合、冷却水取入弁（キングストンバルブ）等を閉鎖して作業しましょう。）

冷却水用フィルター

分解状況

冷却水取入口（船外機）

○ 冷却水（クーラント）量の確認
　冷却水（クーラント）量は十分ですか。
　リザーブタンクの冷却水量が規定量より少ない場合は規定量まで補給しましょう。
　急激に冷却水量が減少している場合は漏水箇所を調査し整備しましょう。

リザーブタンク

○ 冷却水の排出量の確認
　エンジンの冷却水排出量、勢いはいつもと変わりありませんか。
　フィルターの目詰まりがなければ冷却水ポンプのインペラ（羽根車）が不良の恐れがあります。

冷却水排出状況（船外機）

ポンプ分解状況